



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 第一稀元素化学工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4082 URL <https://www.dkkk.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 國部 洋
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 井上 敬一 (TEL) 06-6206-3311
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	26,733	1.0	2,359	△50.8	2,615	△49.8	1,188	△65.8
2023年3月期第3四半期	26,469	22.5	4,790	64.9	5,212	29.2	3,474	14.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,580百万円(△56.2%) 2023年3月期第3四半期 5,890百万円(82.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	48.86	—
2023年3月期第3四半期	142.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	68,055	38,022	55.0
2023年3月期	66,004	36,151	53.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 37,429百万円 2023年3月期 35,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	18.00	—	16.00	34.00
2024年3月期	—	12.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	14.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	3.5	3,100	△42.5	3,500	△41.4	2,000	△50.3	82.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期3Q	24,400,000株	2023年3月期	24,400,000株
2024年3月期3Q	51,887株	2023年3月期	83,180株
2024年3月期3Q	24,332,457株	2023年3月期3Q	24,304,106株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	2024年 3月期 3Q累計		2023年 3月期 3Q累計		前年 同期比	2024年 3月期 通期予想	
	売上高 比率		売上高 比率			進捗率	
売上高 (百万円)	26,733	100.0%	26,469	100.0%	1.0% →	37,000	72.3%
売上総利益 (百万円)	6,645	24.9%	8,485	32.1%	-21.7% ↘	8,800	75.5%
営業利益 (百万円)	2,359	8.8%	4,790	18.1%	-50.8% ↘	3,100	76.1%
経常利益 (百万円)	2,615	9.8%	5,212	19.7%	-49.8% ↘	3,500	74.7%
親会社株主帰属純利益 (百万円)	1,188	4.4%	3,474	13.1%	-65.8% ↘	2,000	59.4%
償却前営業利益 (百万円)	4,485	16.8%	6,739	25.5%	-33.4% ↘	6,200	72.3%

※進捗率は、2023年10月31日公表の連結業績予想と比較しております。

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日）における世界経済は、自動車関連で供給制約が解消に向かった一方で、巣ごもり需要の終息などにより通信デバイスや家電などの需要低迷が顕在化しました。また、OECD諸国の設備投資動向を示す実質総固定資本形成は停滞が続きました。労働市場のひっ迫に伴う賃金上昇などを背景に、エネルギーや食料品を除くコアインフレ率は高止まりしており、個人消費の重石となりました。

当社グループの主要顧客である自動車産業におきましては、半導体をはじめとする部品不足に伴う供給制約が解消に向かったことに加え、中国における新エネルギー車を対象とする税優遇措置の影響を受けて、2023年の世界ライトビークルの累計販売台数は、前年同期比で11.1%増加しました。しかしながら、内燃機関搭載車は微増に留まりました。

当社グループは、半導体、二次電池、生体材料用途で順調に売上高を伸ばしたものの、通信デバイス、家電などの需要低迷によりエレクトロニクス分野で、SOFC（固体酸化物形燃料電池）及びSOEC（固体酸化物形電解装置）用途の原材料価格変動に伴う販売価格の下落によりエネルギー分野で、いずれも売上高が前年同期を下回りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高26,733百万円（前年同期比1.0%増、業績予想37,000百万円に対して進捗率72.3%）、販売数量が前年同期比で0.8%増となりました。営業利益は、前期に享受した在庫販売効果の剥落により前年同期比では減少しましたが、当期業績予想比では大きな乖離はなく2,359百万円（前年同期比50.8%減、業績予想3,100百万円に対して進捗率76.1%）となりました。経常利益は、当第3四半期連結会計期間での為替差損の計上等により2,615百万円（前年同期比49.8%減、業績予想3,500百万円に対して進捗率74.7%）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益はベトナム子会社の旧工場の減損損失（第1四半期連結会計期間において特別損失に計上）により1,188百万円（前年同期比65.8%減、業績予想2,000百万円に対して進捗率59.4%）となりました。

分野別の販売状況は、次のとおりです。

	2024年 3月期 3Q累計		2023年 3月期 3Q累計		前年 同期比	2024年 3月期 通期予想	
		構成比		構成比			進捗率
戦略分野 (百万円)	4,088	15.3%	3,851	14.6%	6.2% ↗	6,400	63.9%
半導体・エレクトロニクス (百万円)	1,181	4.4%	1,226	4.6%	-3.7% ↘	1,600	73.9%
エネルギー (百万円)	1,638	6.1%	1,729	6.5%	-5.3% ↘	3,200	51.2%
ヘルスケア (百万円)	1,268	4.7%	891	3.4%	42.2% ↗	1,600	79.3%
自動車排ガス浄化触媒分野 (百万円)	17,336	64.8%	17,487	66.1%	-0.9% →	23,500	73.8%
基盤分野 (百万円)	5,308	19.9%	5,130	19.4%	3.5% ↗	7,100	74.8%
合計 (百万円)	26,733	100.0%	26,469	100.0%	1.0% →	37,000	72.3%

戦略分野（半導体・エレクトロニクス）

半導体用途は、販売数量は前年同期に届かなかったものの、新しい用途への拡販が進み、増収となりました。エレクトロニクス用途は、通信デバイス、家電など最終製品の需要低迷に伴い、販売数量で前年同期を下回りました。

これらの結果、半導体・エレクトロニクス分野における当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,181百万円（前年同期比3.7%減、業績予想1,600百万円に対する進捗率73.9%）となりました。

戦略分野（エネルギー）

二次電池用途は、電動車の増加による需要増に伴って販売数量を伸ばしましたが、欧米市場を中心としたEVシフト減速の影響を受けて通期計画に対する進捗が遅れ、第2四半期連結累計期間と比べ増収幅が縮小しました。SOFC（固体酸化物形燃料電池）及びSOEC（固体酸化物形電解装置）用途は、販売数量は前年並みに推移したものの、原材料の市場価格変動に伴う販売価格の下落により、前年同期比で減収となりました。水素関連は、着実に伸ばしました。

これらの結果、エネルギー分野の当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,638百万円（前年同期比5.3%減、業績予想3,200百万円に対する進捗率51.2%）となりました。

戦略分野（ヘルスケア）

生体材料並びに抗菌剤・環境の用途で販売数量が前年同期を上回り、大幅増収となりました。医療機器用途は、販売数量は前年並みに推移したものの、原材料の市場価格変動及び為替影響に伴う販売価格の上昇により、前年同期比で増収となりました。

これらの結果、ヘルスケア分野における当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,268百万円（前年同期比42.2%増、業績予想1,600百万円に対する進捗率79.3%）となりました。

自動車排ガス浄化触媒分野

自動車触媒及び酸素センサーは、引き続き内燃機関搭載車が主流となる日本、北米、グローバルサウス市場において旺盛な需要を取り込んだものの、中国を中心に、電動化に伴う需要減の影響を受け、販売数量は前年同期比で微増に留まりました。

これらの結果、自動車排ガス浄化触媒分野における当第3四半期連結累計期間の売上高は、17,336百万円（前年同期比0.9%減、業績予想23,500百万円に対する進捗率73.8%）となりました。

基盤分野

ブレージング（アルミ配管ろう付け）用途は、自動車向けで引き続き内燃機関車が主流となる日本、北米、グローバルサウス市場において旺盛な需要を取り込んだことに加え、家電向けではアルミニウム製熱交換器を搭載したルームエアコンの普及が進み、販売数量を伸ばしました。構造部材並びにブレーキ用途は、堅調に推移しました。一方で、耐火物用途は、主要な需要家である国内の鉄鋼業界の低調により販売数量が前年同期を下回りました。

これらの結果、基盤分野における当第3四半期連結累計期間の売上高は、5,308百万円（前年同期比3.5%増、業績予想7,100百万円に対する進捗率74.8%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は68,055百万円で、前連結会計年度末に比べ2,050百万円増加しました。これは主に、流動資産その他の増加(1,267百万円)、有形固定資産の増加(1,217百万円)によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債は30,032百万円となり、前連結会計年度末に比べ179百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加(1,099百万円)、流動負債その他の増加(174百万円)、未払法人税等の減少(1,078百万円)によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は38,022百万円で、前連結会計年度末に比べ1,870百万円増加しました。これは主に、為替換算調整勘定の増加(1,310百万円)、利益剰余金の増加(507百万円)によるものです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は前連結会計年度末53.8%から55.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、外国為替相場の変動や地政学リスクなど先行きが依然として不透明な状況ではあるものの、引き続き戦略分野の販売に注力するとともに、需要に合わせた適正な在庫管理、コスト低減に取り組んでまいります。2024年3月期通期の業績予想につきましては、2023年10月31日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、2024年3月期第2四半期連結累計期間において、為替差益2,249百万円を営業外収益に計上していましたが、その後の為替相場の変動により、2024年3月期第3四半期連結会計期間において1,317百万円の為替差損を計上いたしました。これは、主に当社で保有する外貨建資産・負債に対し発生したものです。この結果、2024年3月期第3四半期連結累計期間において営業外収益に計上する為替差益は932百万円となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,750	9,084
受取手形及び売掛金	6,623	7,173
製品	6,380	6,375
仕掛品	2,434	3,161
原材料及び貯蔵品	5,625	4,985
その他	2,173	3,440
流動資産合計	33,987	34,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,840	14,451
機械装置及び運搬具(純額)	4,932	9,843
土地	2,233	2,233
建設仮勘定	13,721	771
その他(純額)	584	1,229
有形固定資産合計	27,311	28,529
無形固定資産	1,280	1,403
投資その他の資産		
その他	6,363	7,023
貸倒引当金	△2,938	△3,121
投資その他の資産合計	3,424	3,901
固定資産合計	32,016	33,834
資産合計	66,004	68,055
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	977	2,076
短期借入金	2,400	1,200
1年内返済予定の長期借入金	3,589	4,816
未払法人税等	1,104	26
賞与引当金	388	183
役員賞与引当金	96	-
その他	1,480	1,654
流動負債合計	10,036	9,956
固定負債		
長期借入金	19,240	19,109
退職給付に係る負債	2	3
その他	573	962
固定負債合計	19,816	20,076
負債合計	29,853	30,032
純資産の部		
株主資本		
資本金	787	787
資本剰余金	1,175	1,194
利益剰余金	32,442	32,949
自己株式	△30	△18
株主資本合計	34,374	34,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	332	411
為替換算調整勘定	680	1,991
退職給付に係る調整累計額	134	114
その他の包括利益累計額合計	1,147	2,517
非支配株主持分	629	592
純資産合計	36,151	38,022
負債純資産合計	66,004	68,055

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	26,469	26,733
売上原価	17,983	20,087
売上総利益	8,485	6,645
販売費及び一般管理費	3,695	4,286
営業利益	4,790	2,359
営業外収益		
受取利息	38	93
受取配当金	18	21
持分法による投資利益	27	43
為替差益	1,104	932
助成金収入	11	2
その他	34	121
営業外収益合計	1,235	1,214
営業外費用		
支払利息	184	361
デリバティブ評価損	142	361
貸倒引当金繰入額	471	182
その他	15	52
営業外費用合計	813	958
経常利益	5,212	2,615
特別損失		
減損損失	-	347
固定資産除却損	0	17
特別損失合計	0	364
税金等調整前四半期純利益	5,211	2,250
法人税、住民税及び事業税	1,741	851
法人税等調整額	△47	193
法人税等合計	1,694	1,045
四半期純利益	3,516	1,205
非支配株主に帰属する四半期純利益	41	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,474	1,188

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	3,516	1,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	78
為替換算調整勘定	2,351	1,275
退職給付に係る調整額	△21	△20
持分法適用会社に対する持分相当額	59	41
その他の包括利益合計	2,373	1,375
四半期包括利益	5,890	2,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,834	2,558
非支配株主に係る四半期包括利益	56	22

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。